



姉妹都市盟約50周年記念事業の  
ホームページはこちら！

## 受け継がれる三市の「絆」

苦小牧市と日光市の両市で活躍した「八王子千人同心」を縁に、姉妹都市の盟約を結んだ三市。これまで各都市で開催されるイベントへの参加などを通して、交流を行ってきました。

苦小牧市とは、盟約締結後から交流事業が行われており、昨年も苦小牧市の小・中学生が本市を訪れました。11月には苦小牧市で八王子車人形の公演会が開催され、本市の伝統芸能に親しんでいただきました。一方、日光市には本市の小学生の多くが修学旅行で訪問。日光市からも小・中学生が交流事業で本市を訪れており、八王子千人同心ゆかりの地を見学しています。若い世代にも脈々と受け継がれている三市の「絆」。今後もさまざまな交流を通して、親善を深めていきます。

### トピック

#### 市内図書館でテーマ展示を開催中

図書館では、9月16日まで「八王子の姉妹都市について知ろう」をテーマにおすすめの本を展示しているほか、リーフレットを配布中。10月には中央図書館で、2市から図書を借り受けて、交換展示も行います。



「千人のさむらいたち」  
(八王子市郷土資料館編)

### 姉妹都市の子どもたちとの交流のようす

#### 苦小牧市との交流

昨年7月、苦小牧市から35名の小・中学生が本市を訪れ、八王子千人同心・石坂弥次右衛門の墓所へ足を運んだほか、学童保育所の子どもたちとの交流を行いました。また、デザインマンホール蓋を交換し、両市の絆を深めました。



#### 日光市との交流

昨年8月、日光市から6名の小・中学生が本市を訪れ、はちあく(桑都日本遺産センター 八王子博物館)の見学とともに機織りを体験。また、宿泊先では遊具を使ったアクティビティやカレー作りなどのレクリエーションを楽しみました。



## 新型コロナウイルス感染症が流行しています

問 保健対策課 ☎645・5195 FAX 644・9100

現在、新型コロナウイルス感染症の新規患者数が急激に増加し、「第11波」と呼ばれる事態となっています。一方、猛暑による熱中症患者も増えており、救急車の出動要請が増加していることから、119番で救急要請をしても到着までに相当な時間がかかるケースが多くなっています。必要な方が適切な医療を受けられるように、以下の点で皆様のご協力をお願いします。

#### 基本的な感染対策の徹底を

換気や手洗いなどの基本的な感染対策は、新型コロナウイルスを含む多くの感染症の予防に有効です。また、体調がすぐれない場合は、大人数や高齢の方がいる場所への外出は控えましょう。

マスクの着用は感染対策に有効ですが、熱中症のリスクも高まります。状況に応じ、必要なタイミングや場所を考えて、マスクの着用をご検討ください。

#### 救急車の利用は適時・適切に

緊急性がなく、自分で病院に行くことができる場合は、公共交通機関や民間救急車をご利用ください。また、救急車を呼ぶか迷った場合や病院への案内を希望される場合は、東京消防庁の救急相談センター「#7119」や「東京版救急受診ガイド」(右の二次元コード)のご利用を。もちろん、緊急性があると判断した場合は、ためらうことなく119番に通報してください。



#### 広報紙の配布が不要な方はご連絡を

「広報はちおうじ」は、ホームページや電子書籍などでもご覧いただけます。紙の広報の配布停止を希望する方は、専用フォーム(右の二次元コード)から申請いただくか、広報プロモーション課(☎620・7228)までご連絡を。



#### 八王子市LINE公式アカウント 友だち募集中！

あなたに役立つ情報や災害時の緊急情報などをいち早くお届けする「八王子市LINE公式アカウント」。ぜひ、友だち追加を。登録は右の二次元コードから。

